



「わたしがあなたを遣わすのではないか。」(士師記 6:14)
「イエスはすぐに手を伸ばして、彼をつかんで言われた。
『信仰の薄い人だな。なぜ疑うのか。』」(マタイ 14:31)

新年、明けましておめでとうございます。皆さんの応援で、昨年も感謝な1年を過ごせました。ありがとうございました。チア・にっぽんは、今年は4月で満10才、いよいよ11年目になります。家族・教育が聖書に立ち返ることから始まる、靈的なムーブメント、今年も皆さんと一緒に、主の助けの中で進めていければと祈っています。今年も、どうぞよろしくお願いします。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

限られた時間

子どもの成長は早く、親子の時間は短く、限られているなど実感する日々です。ジョセフは、16ヶ月。いつも外にいると幸せで、今は、公園のトルネード滑り台が大好き。5メートルぐらいの高さでも、一人で、どんどん登っていくようになりました。最初は、危ないと思って、お腹に載せて一緒に滑ってきました。でも、自分で頭から行きたがるので、両足首つかんで僕は、後ろから滑っていくことにしました。滑り台は、思ったよりスピードと回転が激しく、僕はジョセフを手離さないよう、ブレーキかけながら行ったら、途中、頭と足が逆転し、エビのようになってしまい、つっかえてしまいました。でも、ここでジョセフの足首を離すと危ないと思い、なんとか、持ちこたえて下までいきました。

その後、ジョセフは一人すべりに、かなり慣れてきて、別の滑り台は一人で行かせ、少しだけある柵の隙間から落ちたら、受け取れるようにと、下で見てました。滑り始めたら、終点にまわり込んで、抱きかかえようという計画でした。終点では、スピードが遅くなって、自動的に止まるだろうとも思ってました。でも、僕が思っていた以上に速く滑り落ち、僕は間に合わず、加速したジョセフは顔から砂場に落ちて、顔を起点に倒立一回転してしまいました。あわててかけつけて、最後、着地を受け止めるのがやっとでした。ジョセフは砂をたくさん食べて、一瞬、泣きましたが、また、すぐ元気になって、次の滑り台に向かい、今度は足から下りる努力をしてました。けがなく、神様に感謝。また、こんな遊びができるとは1、2ヶ月前は考えられないことで、成長の早さを実感してます。神様から与えられた子育ては、あっという間に過ぎていくことでしょう。目的にかなって十分、できるよう、祈る毎日です。

福音の力…ロサンゼルス・ホームレス伝道

クリスマス・年末年始と真祈史やエミリといくつかの伝道に出かける機会に恵まれ、主を讃えました。ハリウ



光の中へダッシュ、2010年！ ジョセフ 16ヶ月

ッドのはずれの教会で、ホームレスや低所得者の皆さんへの給食伝道が行われています。いつも奉仕している方が、クリスマス贊美伝道を初めて企画し、真祈史とエミリを説いて、練習を重ねました。当日は、50名あまりが演奏を聴いてくれ、中には涙を浮かべて聞いている人もいました。トランペット（真祈史）とバイオリン（エミリ）ですが、伝道への武器となり、音楽を続けて良かったなーと主を讃えました。

演奏終了後、リーダーの方が、突然、僕に「メッセージをしてもらいましょう！」と皆に紹介されました。心の準備が無かったのですが、とにかくストレートに福音を伝えようと思い、話しました。「こうして、贊美して福音を伝える機会ください、ありがとうございます。イエス様、私たち全員を愛しています。でも私たち全員、罪びとで、地獄に行かなければならぬ存在です。神様は、

そのように裁かれることを望まず、イエス様を私たちの罪の罰の身代わりとして、十字架にかけてくれました。…」。聞いてくださっている方々は、特に以下の2か所のとき、はっとした感じで聞いてくださり、印象的でした。「この機会与えてくれて、とても感謝です」と最初に心から感謝を伝えたときと、最後に「私たち、全員が神様の裁きの前に立つときが来ます。でも、地獄に行く道ではなく、イエス様の身代わりの死を信じて天国に行く道をみんなで行きましょう」と話したときです。演奏のアンコールがあって、全部で二公演して終わりました。

後で、リーダーの方のことばに驚きました。「今日は、みんなすごく喜んでいた。いつもはこうではないんですよ。もっと、緊迫した雰囲気で、いろいろあったりする…。皆さん、すごく心開いているんで、急遽、メッセージもお願ひすることにしました」「そうだったんですか。いつも、こんなにあったかい雰囲気かと思ってた」「いいえ、全然、違うんです」。主催者の方から、ぜひ、来週も、無理であれば、近いうちにと頼まれ、感謝しながら帰り道につきました。

後日、真祈史らのピアノの先生、ジェームズ先生に、証しを兼ねて話しました。音楽（ピアノ）を教え続けてくれたことへの感謝も伝え、当日したメッセージの福音の部分も、このように言ったよと、しっかり伝えて。ジェームズ先生曰く「そうだろうね。日ごろは、食事をほどこされているということで、プライドが傷ついているだろうからね。でも、良かったね。その日は、みんな心を開いたんだね」とのこと。チャーチ＆ホームスクーリングの目的である伝道の機会が、一つ、一つ、与えられてくることは、恵みだなと思いました。

理にかなった一生

年末に日本の新聞記事を読んでいて、心に留まる記事がありました。最後の將軍、徳川慶喜（よしのぶ）が亡くなる1年前に心境を記した漢文が見つかったとの記事でした。「人間が行動する時、進むべきか、退くべきかのけじめは、必ず理にかなっていなければならぬ」とのことばです。慶喜は大政奉還、鳥羽・伏見の戦いといった人生を経て、明治時代後半、再評価されます。歴史家は、「慶喜が『理にかなった一生だった』と胸中を表した貴重な書」と述べていました。「理にかなって生きる」。キリストといったことばは出てきませんが、神を恐れ、人の評価や現状ではなく、「真理にかなって生きる」、その道を選んでいくことを心に思い起こさせることばでした。

敬天愛人

年末に1冊の本を読む機会がありました。内村鑑三が書いた「代表的日本人」です。日ごろ、チアの活動を心から応援くださっている、三木晴雄・玉の肌・ミヨシ石鹼社長からいただいた本です。「欧米人から、日本は聖書を知らないから野蛮人の国だとレッテルを貼られ、内村は、こんな日本人の心があるよ!と伝えたかったんだ。クリスチャン、クリスチャンとは言わないけど、クリスチャン以上に、神を恐れ、命をかけて真理に生きようとした人がいるんだ

という気持ちで。ローマ書のパウロは、異邦人の国に行つたとき、神はすべての人の良心にすでに働きかけておられ、魂に向けて礼をもって、福音を問い合わせるよう、話したでしょう。『アテネの人たち。あらゆる点から見て、私はあなたがたを宗教心にあつい方々だと見ております。私が道を通りながら、あなたがたの拝むものを見ているうちに、「知られない神に」と刻まれた祭壇があるのを見つきました。そこで、あなたがたが知らずに拝んでいるものを、教えましょう（使徒 17:22, 23）』とね」と言って渡してくれました。「形よりも本質を！」のチャレンジですね。

内村が取り上げたのは、ケネディ大統領が世界で最も尊敬する人といった「上杉鷹山」ほか、西郷隆盛、中江兆民、二宮尊徳、ほか。共通する志は、「敬天愛人」。神様は今、自分に何をせよと問いかけているのか、神はどう見ているのか、そして、人を愛すること。その求道者としての人生です。人間的には不遇の時をくぐりながらも人を恐れずに、情熱を失わずに、理にかなった人生を歩んでいきます。必死に神様を求めた彼らが、天国に行ったのかどうか、たとえば、死ぬ直前に、イエス様が福音を、超自然的な方法で与えたかどうかはわかりません。キリストの十字架の福音がはっきりと伝えられる必要があり、キリストの血潮のあがないによる罪の赦しが必要であることは言うまでもありません。でも、人ではなく、神を恐れ、実際にそのように生きた先人たちの生きざまに、学ぶ点があるのではと思いました。

特に二つのことを思いました。聖書に「律法の命じる行いが彼ら（異邦人）の心に書かれている…彼らの良心もいっしょになってあかしし（ローマ 2:15）」とあるとおり、神様は、日本人の魂にも、その良心を通して、絶えず呼びかけておられること。そして、伝道の必要。敬天にとどまらず、キリストによる福音を、恵みによって明確に与えられている私たちクリスチヤン、あわれみの中でチャーチ＆ホームスクーリングの歩みへと導かれている私たちが、感謝し、「主を恐れる歩み」を実践し、証ししていく必要を覚えました。本を紹介してくださった三木社長、最近、体調を崩されたと伺ったので、お祈りください。日ごろから、広告での応援や工場見学等、皆さんへの愛情を注いでこられた方の一人です。まだまだ、元気にがんばっていただきたいと思います。お祈りを、よろしくお願ひします。

ローズパレード伝道

アメリカの元旦の全米ネットのテレビは、どこをまわしても、「ローズパレード」です。ロサンゼルス郊外のバサディナ市に100万人の観衆が押し寄せます。この「ローズパレード」でのパンフレット配りや、聖書の立て看板の伝道。

私も真祈史と参加しました。前日は、真祈史の誘いでホームスクーラー仲間のグレッグ君も来ることになりました。当日、弟のエリックくんも加わり、さらに良かったです。10キロぐらい沿道を、歩いてのトラクト配り。皆さん、場所取りをしているだけで時間もあり、数万人のうち、6-7割の割合でもらってくれます。

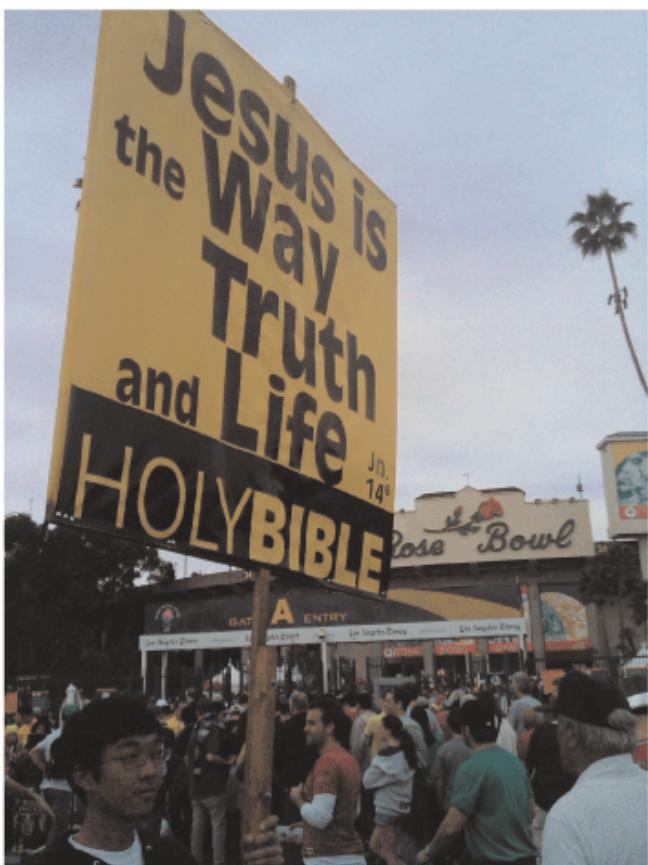
バサディナ市は、母校、フラー神学校のある街で、93年春から95年にかけて住んだ町でした。その町で、15年後

に、こうして、真祈史やその友達も一緒に、伝道のために戻ってくる機会が与えられるとは、思ってもみないことでした。当時、アメリカでも伝道の道を開いてくださいとも祈っていたので、その祈りが答えられた気がして、とてもうれしかったです。真祈史の友達も疲れたけれど、楽しかったと言ってくれて感謝でした。

二日目は、朝5時30分集合。丸森の皆さんLA伝道も2年たち、賛同者もずいぶん増えたのに驚きます。若い白人女性、ヒスパニック系、白人の経営者風の人、韓国系、中国系、アフリカ系、離婚を体験しながらも、主にあって燃える親子、それに日本からの丸森の家族、、、30名を超えると、迫力も出て、アメリカの縮図のような感じがします。6時すぎに、僕たちもパレードの観衆の中に入ってポジションを確保。5時間あまり伝道することが許されました。

反省が生ける

午後は、10万人の観衆が訪れるアメリカン学生フットボール、「ローズボール」での伝道に向かいました。僕の乗った車は、手違いが発生して、スタジアムに近づけませんでした。でも、真祈史が乗った車は、無事に到着。真祈史が聖句看板を持っていると、40代のカップルが話しかけ「では、キリストの福音はなにか、説明してくれ」と来ました。それで真祈史は、喜んで話せたそうです。「去年、ハリウッドで伝道したときの反省が生かせた」とうれしそうでした。ハリウッドでも同じように、「キリストについて知りたい」と聞かれたとき、真祈史は「信号の反対側で看板持っている人（ジェームズさん）が上手に説



「イエスが道・真理・いのちです。聖書」－ 真祈史

明できるから、彼に聞いてみてください」と答えてしまったそうです。後で「その人は、ジェームズさんのところには行かなかったんだ。自分で話せば良かったと思った」と反省していました。それで、「またチャンスが与えられるように祈ろう！」と祈ったのですが、これも「祈りの答えだね」と言える結果が導かれ、感謝でした。そのカップルは、「そうか。よくわかった。ありがとう」と言って、帰ったそうです。

また、「どうして、君たちは、そんなに怒ってるんだ！」と詰め寄ってきた人がいたそうです。「僕らは怒ってないよ。僕らが、怒ってやっているように見えますか？」と真祈史が伝えると、先方は、「いや、そうは見えない」と言って、剣幕が収まって、トラクトをもらってくれたそうです。

真祈史、韓国人女性を助ける

帰りに、立て看板を収納する車が来るまで、歩道で看板を持っていたら、韓国系のお母さんが、歩道の前の家の女性に、立ちのくよう怒鳴られていたそうです。真祈史は「歩道は公共の場で、言論の自由が保障されています。そのように言うのは違法行為ですよ」と、仲裁したのだそうです。アメリカは、違法か合法かということについて敏感です。アメリカの警察官は、伝道を、遵法精神のもとに、純粋な目的で行っている（お金やメンバ一集め目的ではない）ことを知っていて（ジェームズさんたちが事前に警察署に報告しているのですが）、守ってくれるそうです。クリスマス伝道中も、一人、詰め寄ってきた人がいて、「これ以上、悪いことばを使うなら、逮捕するよ」と言って、守られたそうです。ことばでも、人を傷つける行為は違法ということで、合法であるなら、他人の行動や自由を尊重するという、コンセンサスがあります。

その韓国人女性に詰め寄った人は「それはわかったけど、あなた（真祈史）の住所、教えて。あなたの家の前でプラカード立てられたら、どんな気持ちになるか、思い知らせてやるわ」。その時、真祈史に知恵が与えられたそうです。「教えてもいいけど、ここにキリストの福音を書いたパンフレットがあるよ。そして、僕たちが今朝集まつた家の住所も書いてある。このパンフレットあげるから、どうぞ、何でもやってください」。そうしたら、その人は、落ち着いた感じになったそうです。もうおうとはしなかったのですが。でも、隣でホットドッグを売りながら様子を見ていたアフリカ系アメリカ人の主人は、「僕がもらうよ」と言ってもらってくれたそうです。

「それはよく、韓国人の人を助けたね。まあ、議論すると、論理より感情論になる危険があるから、避けるようにする必要はあると思う。冷静に、そして、柔軟に。今は真祈史17才だから、その若さも用いられたかもね。でも真祈史には、相手をあまり威圧しないで、冷静に考えさせる、賜物あるかもね。でも、恐れず、冷静に対応できたのは良かった。今後、聖霊の知恵と導きで不当な弾圧にも動じないで、柔軟に、大胆に、対応できるよう、ますます祈って備えていくと、もっとチャンスも広がる

かもね」と伝えました。良かったと思いました。

午前中の出来事も少し、後に立ったかな

午前中のパレードが始まってしばらくすると、僕の後ろ辺りに500人超の観衆がいたのですが、「看板、動けー！ パレードが看板の陰で見えない。動け！」と2人ぐらいの人々が叫び、それから、その場全体の大勢から、ブーイングが起きました。すごくいいポジションでやつてたので。

去年は、初めてだったので、どんなことが起こるかわからず、慎重に遠慮して、観衆の一番、後ろの列に看板を持って、道の反対の人が見えるようにやっていました。雰囲気がわかったので、今年は最前列の徹夜組の人たちすぐ後ろの目立つところに堂々と構え、交差点の両脇の数千人から見えるポジションに立っていました。パレードの大音響で、僕は最初、背後の罵声に気付かせんでした。まわりの徹夜組の人々とは既に仲良くなっていました。その徹夜組の人々が僕を気遣いながら、教えてくれました。それで僕は、ゆっくり、ふり返ると、ブーイングがどっときました。罵声の中心の人の顔を確認して、ゆっくり看板の角度を変えて、視界をふさがないようにして、あとは、また正面を見て、そのまま振り返らないでいました。すると「ずっと、動かないつもりか。。。！」と、失望の声が続きましたが、僕は、ぶんぬぐられてもいいやと思ってそのままにしていると、静かになりました。その時、突然、パレードの流れが止まりました。音楽隊と共に、花や人形で飾られた山車がたくさん出てるのですが、その山車の一台が壊れて、レッカー車が急行したのです。僕たちの目の前に止まったのは、救世軍の音楽隊100人あまり。

最初、救世軍は、支給された水のボトルをもらって休んでいましたが、15分あまりも中断が続くので、特別サービスで、私たちに向かって賛美歌を演奏し始めました。それで、皆は拍手喝采で、明るい雰囲気になりました。少し前に聖句看板の罵倒事件があったばかりだったので、不思議な気持ちがしました。賛美歌の数曲の演奏が終わって、パレードが再開。続いての山車は、ルーテル教会の「十戒」の山車でしたが、そこに乗っていた何人かの人たちが、僕に向かってがんばれと合図してくれました。これもまた、励みでした（全部で40台ぐらいの山車ですが、クリスチャン関係はこの2台だけでした）。

途中、クレームしていた人の位置に行って確認してみましたが、視界をさえぎるのは一瞬で、全然見えないわけではないこともわかりました。叫んだ人は、前にクリスチャンといやな思い出があった人だったのかな。角度を変えることで、斜め向かいの1000人ぐらいの有料席からもよく見えるようになっていたので、逆に、それはそれで用いられたとも思います。終わったあとも、何人ものクリスチャンの人々が来て、励ましと慰労のことばをかけてくれました。

そうした、今まであまりなかった、やり取りやプレッシャーの中で、真祈史も、僕の隣で、別な看板を持ちながら、僕の対応を見ていたのでした。それも少しは、ホームスクーリングになったかな。



観衆の中になじむ聖句プラカード（僕と真祈史です）

若さと聖靈の守り

終了後、数十万人が家路に向かう道で、聖句看板を持ちました。「子どもにさせるな」と言った人がいました。真祈史は、「いや、自分がやりたくてやってるんだ！」と答えていました。「悪口雜言には、反応しなくていいよ。右のほうをお打たれたら、左のほうをだせでしょう」と、真祈史を諭しました。「これをブッシュに聞かせろ！ イラク人をあんなに殺戮したんだから」と声を掛けてきた人にも、真祈史は答えていました。僕は、この場では議論しない方がいいのになーと思いつつ、隣でやり取りをきました。幸い、最後は、その人が真祈史に好感をもった感じで終わりました。その時は、「この場で議論は、ふさわしくないよ。みな冷静じゃないし、何か確信していることがあって、議論をふっかけるケースが多いから。さらっと流して、福音にフォーカスして伝え、聖靈に委ねると、そこは議論の余地なしで、魂に響くよ」と話しました。でも、結果的には、その人は好感をもった感じなので、主がそれも助けてくれたのかなーとも思いました。午後のやり取りの件を聞いても、ひやひやで、未熟だなーと思うところもあるけど、「若さと純粋な動機だから、神さまも特別に守って、人々も、心穏やかになったのかなー。ますます、聖靈の力ができるよう体験し、研鑽していったらいいと思う。いずれにせよ、今回も二日間、よくやった。特に今日は通りすがりの人ではなく、5時間近くも一緒にいる人の中で、同じ看板持ち続けるわけだから、今まで以上に、大変だったと思う。よくやったよ」と、伝えました。

息子に学ぶこと

今、書きながら考えてみると、真祈史に、穏やかに、聖靈の力での対応を教えるだけでなく、僕も、真祈史に見習う点もあるかなーと思いました。たとえば、来年、群衆に何か言われたら、笑顔で、なんか一言、言おうかな。「言ってくれてありがとう。看板は、少し、ずらすよ。憲法にそってやるから動かす必要はないけど、みんなの思いも尊重して。パレードも大事だけど、福音はもっと大事でそれを

伝えたいだけだけで、退くことはできないけど」とかソフトに言おうかナー。その案を真祈史に話してみると、いわく、「うーん。それはどうかなー。あの時は、黙って、少しずらしたのが、一番、よかったんじゃない?」「僕たちと仲良くなつた徹夜組のお母さんいたでしょう。子どもと一緒に、おもちゃのラッパを吹きまくっていた。となりのティーンエージャーたちが、『うるさいから、やめてくれない? 気分が悪いんだけど』と言われてたけど、そのお母さんはまったく動ぜず、「さあて。ここは公道だからね」と答えて、ラッパを最後まで吹き続けていたよ。その対応も面白かった」と、真祈史は言ってました:-)。

危機の行動も、教える

前にポール・ブローマンさんが、日本で伝道中、妨害する人に囲まれたとき、そばにいた子ども、ナタンたちに、「こういうときはどうしたらいいか、見せるから」と言って、そのまま倒されて、ズボンを下げられたりし、その後、警察に連れていかれた話しをしてくれたことを思い出しました。20年ぐらい前に起こった事件です。結局、その話しはタイム誌に、日本では表現の自由や、宗教・良心の自由といった基本的人権が理解されておらず、警察もその時の対応に問題あるのではと掲載されました。その後、警視庁の要職の方から、ポールさんらが招かれ、「皆さんの行動は、法的に何の問題もありません。場合によっては、混雑等をさけるために、ご協力をいただくことがあるかもしれません。でも、それ以上は何も、問題ありません。なにか、人々や担当の警察官等と、問題が生じた場合は、すぐに私に連絡してください」と言われ、名刺をもらったそうです。普通、警察の役職の方が、個人に名刺を渡すことは少ないと思います。実際、その名刺を僕もナタンから見せてもらったこともあります。以降、警察は、とても協力的で、僕が日本で参加したときも、明治神宮でも、渋谷でも、一番、いいポジションを、警察や機動隊のすぐ隣り、その護衛の中で、伝道させてもらっているかのようでした。今年も、チアのスタッフたちも明治神宮や大宮での伝道に参加させていただきましたが、年々、人々のまなざしがあたたかくなっていくように感じたと言っていました。

ポールさんが子どもたちに、苦難や迫害のタイミングで、どう親が行動するか見ていいないと、冷静に考えておられたことも、なるほどナーと思います。僕は、今回、そこまで頭がまわりませんでした。でも、500人ぐらいの群衆の中で公に罵倒されるのは初めての体験でしたけど、結果的には真祈史と一緒に体験できたことは良かったかなーと思いました。500人の群衆の前での罵倒というのも、それもまた、光栄な体験でもあるかなーと思いました。前回の白馬で、R Cさんが「子どもたちとの会話が、すなわち教育」とおっしゃっていましたが、そのようなことも許されて感謝でした。まあ、来年は、もう少し、みんなの視界をブロックしない位置で、なおかつ、神さまが導く、特等席を与えるようにとも思っていますけれど。でも、今回の位置、導かれるようなら、やっぱり、来年もここに来ようかナーとか、思いました。

とにかく、真祈史との体験も拡がり、伝道に行って、良

かったと思いました。

続編・エミリバージョン

エミリは、今回は、16ヶ月になったジョセフの子守り手伝いで家にいました。でも、あとで教会のユースグループで、証ししたらしいです。「ローズパレードで兄の真祈史とダディが、路傍伝道に行ったよ」と言ったら、「その看板、友達が見たって言ってた」「遠くだったから字は読めなかったけど、黄色に黒い字で目立ってて、聖書のことばだって、わかったって」「先生は何て言ってた?」「それはいいことしたね。って。エミリはどうしたのかって聞いてきた。『私は、行かなかつたけど、心の中で言ったと答えた』。先生は、『そうかー』って言って、私にグミベアをくれた」「先生、喜んでくれてよかったですー」「当たり前じゃない。先生は熱心なクリスチャンだよ」「ただけど、クリスチャンでも反対する人も多いから...」とのことでした。エミリが自分から証ししたこと、心の中で行ってたことも知って、うれしかったです。また、「当たり前じゃない!」と捉えていてくれたことも。

満10年の背後の神様のあわれみ

もうすぐ、チアの設立を始めて、満10年です。新しいことが10年、続くということは、それほど容易ではないでしょう。日本でチャーチ＆ホームスクーリングが進んでいくことは、神様の御計画であり、御手がどれだけ厚く支え、助けてくれていたのだろうかと改めて思っています。ますます、神さまを恐れ、現状に試練や困難があつても、恐れずにという思いが募ります。10年のときを思う出来事も二つありました。

3人から

チアのコンベンションで、通訳等してくれたジャン・ブローマン家族が12月初めから、ロサンゼルスへと引っ越しています。こちらでの路傍伝道に専心するためです。招かれて、ジャンさん家族と私たち家族との交わりのときを持ちました。第1回のコンベンション講師、ジュリー・ホーンさんや、2005年の白馬セミナーの分科会講師のジャネットさん（元チア・カリフォルニア理事、現在、啓明宮城小教師）らも合流しました。私は、ジャン&ジェニ一家族の6人の子どもたちに尋ねました。「ジュリーとジャネットと和紀子の3人には共通項があるよ。神様は3人をあることに用いました。何だか、わかる人?」皆、「わからない」ということでした。「実は、この3人からチアが始まったんだよ。3人は、LAに住む日本人の奥さん向けに、英語と聖書の会を始めたんだ。その時、和紀子は、ジュリーとジャネットがやっているホームスクーリングに関心を持ち、そして、僕に取材してみたらと提案してくれたんだ。今から12、3年前かな。それが最初だよ！ それから、我が家でもやることになり、和紀子が、日本のホームスクーラー家族やチャーチスクールの皆さんを助けるセミナーをやつたらということになって、ジュリーと僕とで、旗揚げ



3人：和紀子/ジャネット/ジュリー・ホーン

セミナーを日本で行ったんだ。そこに、ポールさんとか来て、『一言、話したいのですが、いいでしょうか』と来て、悪い人じやなさそうだと思ってマイクを渡したんだ。『皆さん、これは神様が起こした働きだと思います。皆さん、一緒にやりましょう！』って、大きな声で励ましてくれて。そして、10年がたった」「(ジュリー) なにか、10周年でやるの？」「そうだね。二人をスピーカーに呼ぶか。コンベンションか、白馬」「(ジャネット) (爆笑) きゃー、それはすごい！ ゼひゼひ！」と、主を賛美しながら盛り上がりました。

メディアを吟味するファミリーへ

12月に刊行した「ファイアーストーム 決断する愛一夫婦の危機を救う40日プラン」、お陰さまで、いろいろなメディア関係の方からも問い合わせをいただきました。正月明けには「ファミリー・フォーラム」が、インタビューしてくれ、TVの「ライフライン」でも、3月放送ということで、2月に収録してくれることになりました。「ライフライン」さんに、ハリウッドを聖書へと導くミニストリーで用いられているテッド・ペア博士（2005白馬講師）のインタビューも取れますよと提案したら、ぜひ、と返事がきました。テッド博士へのインタビューは12年ぶり。日本向けに4つぐらいTV番組制作しました。そうした番組制作以降、テッド博士が「テレビもいいけど、ハリウッドに挑戦してみないか。君のアイデアには、きっと投資家が動くよ」と言って、励ましてくれたのが、その頃です。それから1年ほど祈り、「向こう岸に渡りなさい」との聖書のみことばが特別に響き、最初に開かれたのが、チアでした。そして、映画「Kingdom Come」の制作ほか。そうした出来事を走馬灯のように振り返りながらのインタビューとなりました。

「なぜ、ファイアーストームがアメリカでこれほど用いられたか」「台本がいい。善が勝ち、悪は滅びる。キリストの救いが明確。そして、、、」「メディアに気をつけるべきことは」「メディアは、気付かないうちに、人々の価値観を歪めてしまう力がある。少しだけ、聖書から離れるメッセージが含まれていたり。観おわった後で、作品でヒーローとして描かれた人物は、なぜ、ヒーローだったのか、聖書と照らし合わせてみてどうか、といったことを話し合

う関係や習慣が大事」等。詳しくは、春の放送にて。どうぞ、収録をお祈りください。

なぜ?と、主の召し

主は、ギデオンを召されたように、私たちを召してくださいと 思います。

「勇士よ。主があなたといっしょにおられる。」（士師記 6：12）イスラエルの民が苦難と圧迫の中にある時でした。

ギデオンはその御使いに言いました。「ああ、主よ。もし主が私たちといっしょにおられるなら、なぜこれらのことがみな、私たちに起こったのでしょうか。」（6：13）

「すると、主は彼に向かって仰せられた。『あなたのその力で行き、イスラエルをミデヤン人の手から救え。わたしがあなたを遣わすのではないか。』」（6：14）

私たちの人生は、苦難と圧迫の中にあるかもしれません。僕も、今年に入っても、いくつか失敗があります。今後も、様々な失敗あるかもしれません。でも、主はギデオンに命じたように、私たちにも命じているのではと思います。「わたしがあなたを遣わすのではないか。」（6：14）「安心しなさい。恐れるな。」（6：23）ギデオンは確信がなく、恐れますが、次第次第に主にある確信を強めていきます。そして、イスラエルの民に祝福をもたらします。

水の上を歩き続けるために

水の上を歩いたペテロや弟子たちもそうでした。彼らは、夜のガリラヤ湖で、向かい風や波に悩まされ、湖上を歩くイエスを見て、恐れ、叫びました。

「しかし、イエスはすぐに彼らに話しかけ、『しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない』と言われた。」（マタイ 14：27）でした。

ペテロは勇気を出して、舟から出て、水の上を歩いてイエスのほうに行きました。「ところが、風を見て、こわくなり、沈みかけたので叫び出し、『主よ。助けてください』と言った」（14：30）でした。

「そこで、イエスはすぐに手を伸ばして、彼をつかんで言われた。『信仰の薄い人だな。なぜ疑うのか。』」（14：31）と言って助け、風も治めました。弟子たちは、「イエスを拝んで、『確かにあなたは神の子です』と言った」でした。

間違えないようにとは思ってますが、やはり、恐れたり、失敗したり、勇気を出して出発したのに引き返したくなる体験も許されるかもしれません。でも、主の声を聞きながら、軌道修正し、イエスを讃えながら歩みたいと思っています。敬天愛人、聖書の真理にかなって歩んでいけば、どう導かれても、「安心しなさい。恐れるな」（6：23）で、主に従っていれば、大丈夫だと思います。ですから、皆さん、軌道修正しながら、「理にかなって、生きよう！」ではありませんか。また、そうできるようにお祈りください。

今年1年、主が皆さんをますます祝福されることを祈ります。今年もどうぞ、よろしくお願ひします。

感謝しつつ

稻葉 寛夫

チア・ ippon 第8回 関東ミニ学習会 (2010/1/25) にっぽん 絵てがみ教室 & グランプリ・カーレース大会 !

月1回程度の学びや、体育や美術、交わりの機会が持てたらとの声に応えて始まった関東ミニ学習会。2010年初めての会は1月25日に開催します！ どなたでも、奮ってご参加ください！！

日時：1月25日（月） 開場：午前10：00 スタート：午前10：30 終了予定時刻：午後3：00

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木） センター棟310室 集合

スケジュール：《午前》：絵てがみ教室&グランプリ・カーレース関東大会。講師に新庄

すが江さん（50以上の受賞歴）をお迎えし、好評だったペン画教室。今
回は、送って喜ばれる絵てがみ（カラー）を教えて頂きます。「心の中
のイメージを描くのが絵てがみ。愛がこもっていれば良い作品になります！」と新庄さん。
おじいちゃん、おばあちゃんや友人に、伝道やチャーチ&ホームスクーリングレポートの祈りを込めて、心温まる絵てがみ
を出してみませんか。また、昨年の白馬セミナーで第1回を開催し、盛
り上がったグランプリカーレース大会、昨年9月に約束していた関東大
会を行います！（レースカーをご希望の方は、チアにお申込みください。
白馬2010めざして、今からご購入でもOKです。3月入荷予定です
(450円+送料実費)。）こちらも、どなたでも参加自由です。

《午後》：体育（リズム運動、バレー、バスケットほか。親御さんも一緒にどうぞ！）

「家庭での実践例（約20分）」。今回は、毎回特別講師をしてくださっている藤井一朗さんが仕事の都合で来られないため、稻葉さんが家庭での実

践例をはじめ、「アメリカ系、オーストラリア系、中国系、日系ホームスクーラーたちに学ぶ、HSの工夫
や特徴」等をお話します。お楽しみに！

※スポーツ、工作、器楽、インストラクター募集中！

参加対象：どなたでも大歓迎です。積極的にご参加ください。ベビーシッター等ありませんが、赤ちゃん
一緒にOKです。

持ち物： はがき大の白い紙、使用済みの割り箸、筆＆パレット（レトルト食品のトレーでもOK）、墨汁（色落ちしないタイプ）、絵の具、水を入れる容器、描く題材（何でもOK）、レースカー（参加希望者）、体育館シューズ、運動できる服装。

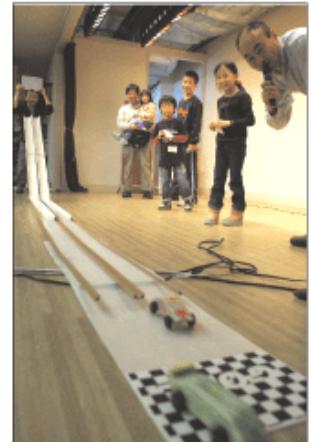
参加費： 大人（中学生以上） 700円 +（食費実費） 590円

小学生以下 500円 +（食費実費） 540円（4歳以上）

※郵便振替、あるいは銀行振込にてお支払ください。

郵便振替 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局

銀行振込 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 （普）1746716 ホームスクーリング・ビジョン（株）



第一回カーレース大会（④白馬セミナー）

1月25日（月）第8回関東合同学習会 参加申込書 ⇒ FAX 03-6862-8648

ふりがな 代表者ご氏名	(携帯 お電話)			
(〒 ご住所)				
参加費 大人（中学生以上） 1290円 × () 人 子ども（4歳以上） 1040円 × () 人 子ども（3歳以下） 500円 × () 人 合計() 円				
参加者ご氏名＆性別＆年令				
ふりがな 男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳
ふりがな 男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳

いなちゃんのお勧め映画ライブラリー

ムービーガイド賞受賞作品

「スパイ・キッズ」

家族のきずなのための勇気と犠牲！

ご機嫌なファミリー・アクション

これは、ごきげん、楽しい映画です。家族のきずなの大きさをテーマにしたファミリー・アクション。先日、チアの手伝いに来てくれたティーンたちの7人の男の子が、ジャケット見た瞬間、リクエスト、No.1！仕事を早く終えて、緊急試写会で、大爆笑＆大受けだったそうです。

この作品はクリスチャンたちが制作に深く関わっています。主演のスパイキッズ（姉）役のアレクシア・ベガにインタビューの機会が与えられました。「スパイキッズのテーマは、家族のきずなを訴えることです。家族が共に過ごし、いつまでも思いやり、助け合い、愛し合い、結婚を尊び、努力し、命をかけて守る、それがテーマです。私はクリスチヤンです。それぞれに神様は賜物を与え、私には女優を通して、神様の栄光を現すという賜物を与えてくれました。口の中もずっと祈りながら行いました。スパイキッズに出て、証しする機会が増えて喜んでいます」「ミッションスクールに通っていますが、神様が人間を創造した人と言われて手をあげた人は、私一人でした。落ち込んで家に帰りましたが、母はイエス様を証してきて良かったじゃないと言ってくれました。少しでも、イエス様を証ししたいと思う毎日です」

デリル・サバラ（弟役）、ダニー・トレーホ（伯父役）ほか、家族的、聖書的作品に強く共鳴するキャストたちが、気さくに話しかけてくれたのも良き思い出です。アントニオ・バンデラス（「マスク・オブ・ゾロ」、「シュレック」）、ジョージ・クルーニーら実力派も好演しています。こうしたキャスト、スタッフに囲まれて、制作されたこの作品、「親子のお話タイム」「弟を助ける」「親を信じる」…「スパイは簡単だけど、家族がまとまるのは難しいの。それこそ、価値ある任務よ」この最後のメッセージに向けて、軽快でユーモラスなアクションコメディが展開していきます。最近、廉価版が入手可能となり、お薦めすることにしました。



チア・イ・ボン・ティア
たちにも大好評！

ムービーガイド賞受賞作品

「ドリームズ・カム・トゥルー」

励まされる！ 努力や励ましで人は変われる！

希望と勇気と感動のハートウォーミング・ストーリー

アメリカのホームスクーラーが、注目されるようになった一つに、「スペリング・ビー（全米スペル大会）」での連続優勝があります。全米で注目される大人気の競技。そこでホームスクーラーの活躍もめざましく、数年前、「今年はホームスクーラーではなかった」というのが、全米のニュースになったほどです。この映画は、その「スペリング・ビー」に挑戦した11歳の女の子、アキーラの実話を映画化した作品です。これは、励まされる努力のもたらす素晴らしさ、人生の変化、そして、その目的を考えさせる、感動作品です。

幼い頃に父親を亡くしたアキーラは、貧困、不良化した兄らとの中でぎりぎりに生活を送っています。彼女の唯一の楽しみは、亡き父が好きだった英単語のスペルをマスターすること。学校では、ガリ勉とかわれ、いじめられます。そんな時に、アキーラの高い力を見抜いたU.S.L.Aの教授、ラグビー博士がコーチ役を買って出ます。コーチは、スペルではなく、言葉づかいや礼儀を教え、従順を教えます。単語暗記ではなく、文字の構造を教え、そして、その背後にある、学ぶ目的を教えます。コーチの部屋の壁にかけられたことば。「恐ろしいのは我々の力不足ではない。恐ろしいのは、我々の計り知れぬ力だ。我々は自問する。自分は何者か、才能あふれる者に、自分はなれるのか。実際には、誰でも、そうなりうるのだ。神なる栄光を現すために世に示すために生まれた自分を輝かすとき、我々は無意識に、他人をも輝かす。」

アキーラは、臆病な自分に打ち勝ち、プレッシャーに耐え、苦難を経ながら、州大会を勝ち抜きます。学校も、貧しい街全体も励まされ、アキーラは、母との関係を取り戻していきます。母は言います。「アキーラには5万人のコーチがいるよ！」ランクが低いということで予算が削られたアキーラの学校、荒れていた兄、兄を非行に誘ったギャング、貧しい街中のみんな、そして、娘を病死させ、妻を失って傷ついたラグビー教授も自分のコーチ！ アキーラ



は、5万人が、自分のコーチをしてくれていることを覚えます。そして、ライバルを輝かすためにも、決勝のワシントンDCへと向かいます。

ほっぺにキッスというのが2回ありますマイナス点。エンディングで、もっと、聖書の話を入れることもできたと思う。それでも、作品全体に、努力すること、神が与えた人生の目的、神の栄光を現し、自分を輝かすときに、多くの人々が輝いていく。環境がすべてを支配しない。努力すること、まわりの人々の対応や関わりによって、人生が変わっていく、そういう勤勉や努力、他人への思いやりを尊ぶ、希望のメッセージがあふれている優れた作品です。主人公のキキ・バーマー、ローレンス・フィッシュバーン（ミッション・インポッシブル3、マトリックス）らが好演。廉価版が出たのもうれしく、推薦作品入りです。

500円シリーズ 「名犬ラッシー - 家路」

子どもと安心してみれる作品

思いやり・価値観・勇気 アカデミー賞撮影賞ノミネート作品
アメリカだけでなく、日本中で愛された名犬シリーズの第一弾！

ヨークシャーに住むカラクリ一家のラッシーは、息子ジョーを学校に送り迎えする、利口でまさに名犬。しかし、借金のために、侯爵家に売ることになりました。ラッシーは、スコットランドからジョーのために脱走をはかり、美しい自然の中で、冒険が始まります。

クラシック作品なので、テンポ等はゆっくりです。でも、メッセージがしっかりとしているため、引きこませます。ラッシーを売っても、ジョーは反抗的にならず、親に従ったり、「貧しくても、お父さんを尊敬して」、「勇敢な犬を撃てない」、「命へのやさしさ」、傷ついたラッシーを助けた老夫婦とラッシーとの間での「礼儀と思いや」、「お願ひって、丁寧に接するなら、希望が拡がる」、暴漢に襲われた仲間を守るために立ち上がる勇気...、心にとめておきたいメッセージがちりばめられています。ずっと前（たぶん、子どもの頃）に観た作品でしたが、いくつかのシーンが心に残っていました。少女期のエリザベス・テーラーも登場。画質は古いけど、アカデミー賞撮影賞ノミネートだけあって、レベルは高いです。値段も500円だから、そこも薦めやすいところです。



「ファイアーストーム」セット ★ プロモーションチーム、募集します！ ★

夫婦・対人関係の回復にも、伝道にも、悔い改めにも、最適です。卸価格（5セットから委託）で送らせていただきます。オフィスにご連絡ください（TEL 048-854-1725、FAX 03-6862-8648、Eメール：office@cheajapan.com）。

希望セット数 () セット

ふりがな
お名前

お電話番号

ご住所

「ファイアーストーム」セット DVD部門1位（12月）！

★ いのちのことば社系書店 12月に1位にランク（DVD部門）★

《プロモーションチームの皆さんのが声》

- ファミリーフォーラムでも、お陰様で、よく売っています。（長野 Aさん 50代）
- ノンクリスチャンの友人に、DVDを渡したところ、翌日、「すごく良かった。これ、ほしいんだけど」と連絡もらいました。その友人は、友人の友人（ノンクリスチャン）に渡したそうで、その友人の友人も「キープしたいけどいいか」と連絡きたそうです。それで、二人に書籍を渡しました。（東京 Bさん 50代）
- 全国の長老派教会の先生方に、全部案内を出しました。反響が楽しみです！（東京 Cさん 60代）
- 2月3日の教役者大会での試写会+DVD販売会、楽しみにしています。（大阪 Dさん 50代）

名作映画DVD(書籍)オーダーシート

⇒FAX 03-6862-8648 メール office@cheajapan.com または郵送

(個人鑑賞用です) (価格はすべて税込)

全作品の映画評論は、www.cheajapan.comへ、どうぞ！

NEW! 「スパイキッズ」	1,890円 () 枚	NEW! 「ドリームズ・カム・トゥルー」	1,480円 () 枚
NEW! 「名犬ラッシー」	500円 () 枚		
入荷しました! DVD「ファイアー・ストーム」+書籍「決断する愛」セット			3,990円 () セット
◆「ファイアー・ストーム」	3,990円 () 枚	◆書籍「決断する愛」	1,680円 () 冊
12月紹介「天地創造」	1,990円 () 枚	11月紹介「十戒」	2,480円 () 枚
12月//「プリンス・オブ・エジプト」	2,625円 () 枚	11月//「チェンジング レーン」	1,500円 () 枚
12月//「アイ・アム・レジェンド」	1,500円 () 枚	◆「トゥルーマンショー」	1,500円 () 枚
◆「サムソンとデリラ」	500円 () 枚	◆「クオ・ヴァディス」	500円 () 枚
◆「若草物語」	500円 () 枚	◆「聖衣」	500円 () 枚
◆「偉大な生涯の物語」	1,990円 () 枚	◆「サイモン バーチ」	1,500円 () 枚
◆「バグズライフ」	1,890円 () 枚	在庫僅少「トイストーリー」	1,890円 () 枚
在庫僅少「トイストーリー2」	1,890円 () 枚	◆「モンタナの風に吹かれて」	1,500円 () 枚
◆「ナルニア国物語 第1章」	1,890円 () 枚	◆「剣と十字架」	1,990円 () 枚
◆「炎のランナー」	1,490円 () 枚	◆「ファインディング・ニモ」	1,890円 () 枚
◆「フェイシング ザ ジャイアント」	1,480円 () 枚	◆「Mr. インクレディブル」	1,890円 () 枚
◆「サウンドオブミュージック」	1,890円 () 枚	◆「ベン・ハー」	1,500円 () 枚
◆「黄昏」	1,800円 () 枚	◆「奇跡の人」	1,990円 () 枚
◆「パッション」	4,725円 () 枚	◆「幸せのちから」	1,980円 () 枚
◆「レ・ミゼラブル」	1,480円 () 枚	◆「RV」	1,480円 () 枚
◆「スパイダーマンTM デラックス・コレクターズ・エディション (2枚組)」			1,980円 () 枚
◆「スパイダーマンTM2 デラックス・コレクターズ・エディション (2枚組)」			1,980円 () 枚
◆「スパイダーマンTM3 デラックス・コレクターズ・エディション (2枚組)」			1,980円 () 枚
合計		枚	円

※5000円以下の注文、または遠隔地の場合、送料（実費）あり。※1万円以上のご購入の場合、代引発送となります。

※品切れの際は、少し発送にお時間を頂く可能性があります。また、製造中止の場合、廉価版完売等の場合もありますので、どうぞご了承下さい。

フリガナ お名前	お電話番号
(〒 ご住所)	

「ファイアー・ストーム」視聴者の声

- 久しぶりに心があらわれるような気持ちになり、感動しました。
- とても感動しました。この夫婦の間に神様が入って来られ回復されたことが素晴らしかった。そして、この二人の周りにキリストにあって生きている人たちの助けがあるんだということも感動しました。最後に結婚の誓約をしたのも良かった。

・親子の愛も、夫婦の愛もほんの小さなことで強められたり、傷つけあい、弱まってしまったりするものですね。小さな一つ一つの心遣いや愛の行動を大切にして積み上げていけたら感謝です。人は、本当に感情に流されやすい存在であることを改めて思い、だからこと、お互いの感情を大切にしなければいけないと思いました。神様が私に注いでくださった愛と犠牲を思いつつ何かをえていきたいと願っています。その勇気が与えられますように。

父の心を子に向け、子の心を父に向けて——（マラキ4：6）

チア・コンベンション2010

昨年参加1200名！

関西 5月21日（金）～22日（土）

生駒聖書学院（奈良県生駒市）

東京 5月28日（金）～29日（土）

国立オリンピック記念青少年総合センター

《主講師》

フィル&スージー・ダウナー夫妻

Phil & Susy Downer (Discipleship Network America)
(www.dhamministries.org/aboutus.html)

長男ポール（24）と次女アンナ（20）も講演！

●フィル：DNAミニストリー代表、元弁護士・
50人の法律事務所の代表、CBMC [スタッフ
2000人の元クリスチャン実業人の会] 全米代表)

●スージー：元デルタ航空・顧問弁護士副代表、6人（14歳～26歳）のホームスクーリングママ



フィル&スージー共著「永遠のインパクト：人間の生涯への投資」「父への報い：真理に歩む子どもたちを育てるために」「親密さとチームワークをあなたの夫婦生活に築くために」「勇気、強さ、そしてやさしさ—すべての靈的な戦いの中で」ほか多数。

DNA（キリストの弟子ネットワークアメリカ）代表として、結婚、家族、伝道、リーダーシップ、そしてホームスクーリングをテーマにしての執筆、セミナー講師として大きく用いられています。2人とも弁護士でしたが、離婚寸前の冷たい夫婦関係で苦しんでいました。その頃、フィルは、50人の弁護士を抱える法律事務所の所長。フィルは、成功思考、競争心を強く持ち、社会的には階段を登りつづけていましたが、破たんした夫婦関係や経営のプレッシャーにも苦しんでいました。その頃、あるビジネスマンを通して、クリスチャンとなります。

その後、スージーも信仰をもち、デルタ航空顧問弁護士として、キリストを伝道する日々へと成長していきます。少しづつ、キリストの弟子へと変えられていくフィルを見ながらも、スージーは、愛せない夫への冷たい結婚関係の苦しみに苦しんでいました。その時、弟子訓練をリードしてくれた女性から、「神に不可能はない」と教えられ、信じて決心し、祈る中に、フィルへの愛情が与えられ、回復していきます。デルタ航空の弁護士副代表へと昇進していく中で、ある方の「子どもたちは永遠の重要性をもっているよ」との言葉を聞きます。良き弟子訓練に恵まれ、多くの人々を伝道し、キリストの弟子に導くチャンスが与えられていたものの、自分たちの子どもたちを良き弟子に導けてはいないことに気付きます。スージーは、喜びと誇りをもっていた仕事を辞職し、子どもたちのためにホームスクーリングを始める決心をします。

1991年、フィルは、法律事務所を退職し、CBMC（実業人クリスチャンカンファレンス。全米に2000人のスタッフを抱え、約2万人のビジネスマンの弟子訓練を進めている団体）のプレジデントとして招かれ、10年に亘ってアメリカ、そして世界をリードします。そして2001年、DNAミニストリーを発足。「全世界に出て行き、弟子を作りなさい」（マタイ28：28）との同じ志をもって、進んでいます。フィルとスージーと2人で書いた書籍として「永遠のインパクト：人間の生涯への投資」「父への報い：真理に歩む子どもたちを育てるために」「親密さとチームワークをあなたの夫婦生活に築くために」「勇気、強さ、そしてやさしさ—すべての靈的な戦いの中で」「結婚生活を最善化するために」「普通の人々として」「効果的な男性のミニストリーのために」らがあります。26歳のアビゲール、24歳のポールら6人の子どもたちとともに、全米で用いられています。3年越しの交渉で実現。

スージーは、高校時代、交換留学生として、1年間、京都で過ごし、日本大好き。フィルも、CBMCアメリカ代表講師として、2度来日。今回、3度目の日本通。この時期、4か所あまり、ほかの州レベルのホームスクーリングコンベンションからのオファーを断っての来日です。

白馬セミナー09 アンケート NO2

<大人アンケート>

・リセットでき、また満たしと再スタートのエネルギー、祈ってゆくべきポイントなど、時にかなった恵みがありました。やっぱり来て良かったし、必要でした。スタッフのみなさま感謝します。R.C.先生、聖書そのものを解き明かして下さって感謝でした。また、基調講演すべて良かったです。成田ファミリーの分科会、良かったです！（長野森脇由美子）

・方向性の確認と、励ましをもう一度いただきました。新しいアイデアと一緒に神様の新しい恵みのステージに入っていくチャレンジを受けました。神様が立てて下さった講師お1人ひとりに感謝です。それぞれ必要とされている人のために用いられ、主の栄光を表すことができ、素晴らしいと思いました。

また、沢山の方々が発熱していた子供のために祈って下さい、声をかけて下さいました。感謝です。3日間いることが出来、恵みをもらさず帰れることに感謝しています。（神奈川 伊東美穂）

・Exciting、あらゆる面でRichな気持ちが与えられ、感謝でした。Everything is Good!! （東京 伊澤聰一郎）

・主の御わざの中で、いこいました。そして今一度、主に仕えることを励まされました。R.C.さん、奥様の為、ご家族、お働きの上に主の祝福がありますように祈ります。

私たち家族、白馬の町の散策に出かけました。SLを走らせててくれる公園、池、秋の木の実さがし、楽しかったです。（千葉 田中七重）

・毎度のことながら、スタッフの皆さん、チルミニの皆さまの犠牲と愛の上にこのセミナーが成り立っているのを思い、ただただ感謝です。乳飲み子を抱えての参加で、きちんと聞けたのは1セッションだけだったけど、家事から解放されての夜の時間、久々に会う友人との交わり、ものすごいリフレッシュな一時でした～。感謝!!

鍵谷夫妻の真実な証に感動しました。形は違えど、みんな同じようなところを通され、一体とされてゆくんだな…と、主の御名をほめたたえました。（匿名）

・ホームスクーリングの目的がよく分かって良かったです。特にR.C.スプロール先生の講演が良かったです。（静岡 遠田江里奈）

・今回のセミナーで学んだとおり、子どもたちが将来、親となったとき、躊躇することなく希望をもってホームスクーリングを行うことができるよう、今から私たちが祈り、さらにイエスの似姿に変えられていくよう、すべてのすべてでみことばに従う夫となりたい。

R.C.スプロール師は、今までにない「将来のHSリレーションマインド」を分かち合って下さいました。感謝です。10年前から参加している私たち家族が、今後、「受けのだけでなく」、皆様に「分かちえる」ことが微力ながらでもできればと考えています。（匿名）

・慰めと励ましをたくさんいただきました。子どもたちもお世話になり、ありがとうございました。みんな喜んでいます。講演はすべて良かった。目のおおいが取り除かれた気がします。十分ではないかもしれないけど、と



にかくベストを尽くすことだと思いました。長男（13）が生まれた時からホームスクーリングを始めて、3人の息子たちと一緒に、主人と心合わせてやっています。（石川 ギンター千為子）

・初参加で、とてもよかったです。励まし合う仲間がいて、ゆっくり交わりができ、充実した3日間でした。アイバーソン氏の話がよかったです——HSの本質、子どもの心の中にある動機を見抜いて、祈り、話し合い、気づかせていくことが必要である——。自分自身の悔い改めと共に、HSの本質を求めていきたいと思います。（匿名）

・とても良かったです。以前から知っている方々との再会、新しい出会い。自然体で、神様の働かれている御業を見て、感じることができました。伊東美穂さん、ダニエル・アイバーソン先生、森脇弘隆さんの講演が良かったです。（東京 近藤光子）

・HSTでの実が見てうれしかったです。GLEEMでの証や、成田家の長男の証など、大勢の大人を前に堂々と語る姿に感動しました。Mid Nightシアターよかったです。

鍵和田家の伝道ホームビデオ、演じるお子さんたちが解放されていてすごくよかったです。（神奈川 上原知子）

・4回目の参加です。親も子も、神様のすばらしさと多くの方との交わりから受けた励ましを感謝します。鍵谷さんご夫妻の伝道DVD、わかりやすく、良かったです。

主の教育のあり方、初心に戻って教えられました。我が家家の子ども1人1人に対する教え方に工夫の必要があると感じました。私自身、悔い改めも必要であると思いました。（石川 田中知子）

・毎年参加していますが今年も我が家に必要なお話を聞かせていただき、感謝しています。子どもたちもたくさんお友だちができる手がかかるので、ゆっくりお話を聞けたこともよかったです。年に一度しか会えない、日本中のホームスクーラーに会えたことも嬉しく思っています。同じ思いの心の友に会えてとても励まされました。ありがとうございました。笹山さん、成田さんの分科会で励ましを受けました。（兵庫 阿部寿子）

・白馬セミナーを開催してくださり、ありがとうございました。まさしく励ましとチャレンジのセミナーでした。

インフルエンザの流行の中でしたが、守られて参加できること感謝です。今年は特に集られた方々と顔と顔とを合わせて話すことができました。

毎回、チアがすばらしい講師の方々を招いてくださることにびっくりしています。主は私の必要をよくご存知で、私に一番必要な時に、励ましとチャレンジを与えてくださる方です。

第一セッションのR.C.スプロールJr氏の講演をお聞きし、「やっぱり、なんだ！」とホームスクーリングの原点に帰らされました。

主は必要をご存知のことでは、次男の恵利也が今回

は読書感想文に入選させていただき（本人もびっくりしています）、その賞品にふわふわのスリッパをいただいたことです。なぜなら、彼はいろいろな事情があり、ふわふわのスリッパがどうしてもほしかったのです。ですから彼に与えられた賞品がスリッパだった時、私は思わず本当に主は子どもの小さい願いをも聞いてくださる優しい方だと、感謝でいっぱいでした。

いろいろ大変な中、セミナーを行ってくださったことを心から感謝しています。（大阪 那須百合美）

・ハレルヤ！ この度も素晴らしいプログラム、主にあって満喫♪。心から感謝いたします！

スプロール氏が基調講演の中で、最も主の栄光を現すことは何ですか？と問われました。そして、それは自分に死ぬことです。と。いつの間にか子どもをヒーローに育てるをしていた自分に気づかされ涙涙でした。日頃子どもと一緒に勉強していく、ホームスクーラーとしていい大学に入ることも主の栄光につながる、と学力に捕らわれ、子どもに真逆の道を歩ませようとしていた自分を悔い改めました。自分に死ねるように育てること。イエス様の御姿に変えられていくということはこういうことだったんだ！と改めて目の開かれる思いでした…。たくさんの犠牲を払って日本に来て下さったスプロール先生、稻葉さん初めスタッフのお一人お一人に心から感謝いたします。ありがとうございました！（東京 堀井ユリ）

・素晴らしい大会でした。何のためにホームスクーリングをしているのかを、もう一度初心にかえって考えることができました。ありがとうございました。

青木先生の基調講演と世界観に関する分科会、吉村先生の幼児期における子育ての方法の分科会が良かったです。（匿名）

白馬セミナー 09 講演全CD、DVD (MP-3版音声のみ・全45講演) 完成しました！

◆各講演 CD 1枚500円

◆DVD (MP-3版45講演) 6800円

講演タイトル・内容等、www.cheajapan.com でもチェックできます。または、問い合わせ・申込 チア事務局までどうぞ！ (048-854-1725)

昨年も、ニュースレター・マガジンなどで大変励まされ、言葉につくせないほどの恵みをチアを通して神様からいただいた事を心から主に感謝いたします。

また、今年も私たち家族の絆が主にあって強められ、ホームスクーリングを通して神様が約束してくださっていることが眞実であると益々確信させられた年でありました。

ほんの3年ほど前は家族の回復など決してあり得ないと、このまま家族が崩壊してゆくのだと投げやりだった毎日だったのに、神様のあわれみと恵みによって、両親が主に従ってゆく模範によって子どもを教育するように導かれ、驚くべき家族の回復が今も進行中であることに神様の御名をほめたたえずにはいられません。チアの10年目である今年のクリスマス、そして来る新しい11年目の年に、神様のさらなる祝福をお祈りいたします。

Aさん

ハレルヤ！12月のニュースレターを読んだ後に実家のテーブルに置き忘れていると、70歳になる父がP10～のファイヤーストームの記事に感動して素晴らしいのがあるんだな！と言って来ました。是非、会社で社員に順々に見せたいと言って注文して欲しいとの事です、DVDを見たノンクリスチャンの方が一人でも教会に繋がり救われる事を祈ります。書籍とDVDのセットを2セットお願いします。

東京 Bさん

いつもお祈りと応援、ありがとうございます。19,20日の、桑名キリスト教会でのクリスマス会は、とても感謝なひと時となりました。「したきりすずめのクリスマス」のペーパーサートも、大人も子どもも、とても楽しむことができました。三浦光世さんから頂いたお言葉に、教会の方々も感激していました。そして、送っていただいた本15冊は完売でした。ほとんどは、教会の方々が記念に、友人、ご家族、お孫さんなどへのプレゼントにと購入していました。私にとってはもちろんですが、教会の皆さんにとっても「したきりすずめ」とともに心に残るクリスマスとなりました。

三重 中島若樹&啓子さん

DVD聖書 セット購入します。先日黙示録のみ購入しましたが これは 視力がおどろえた私にとってもよかったです。クリスマスセットを申しこみます。

札幌 Cさん

はじめまして。母がいつも資料を送っていただきおり、楽しんで読ませていただいております。お働きに感謝します！お借りして「したきりすずめのクリスマス」を初めて読んだのですが、ほんとうにおもしろいですね！！！この秋にアメリカから帰国したのですが、ぜひ自分用にもプレゼント用にも購入したいと思います。全部で4冊お願いします。

兵庫 Dさん

昨年もチアを通してたくさんの恵み、助けをいたき主の導きと守りの中で歩めた事を本当に感謝します。ホームスクールをスタートして、あっという間に5年目です。今年はいよいよ長女が中学生になります。将来の目標に向かってしっかりと歩んでほしいと祈っています。その中で示されている事は自分のしたい事、思ひが第一なのではなく、神様がどのように歩んでゆく事を望んでおられるのかという事を祈りの中で思わされています。心を尽くして主により頼め、自分の悟りにたよるな。 という箴言のみ言葉を思いつつ歩んでゆきたいと思います。

埼玉 Eさん

いなちゃんのお勧め映画ライブラリー、毎回楽しく読んでいます。影響を受けて、天地創造も購入してしまいました。まだ「ノアの方舟」にシーンしか見ていないですが、親子（子供5歳＆3歳）で楽しんでいます。

東京 Fさん

こんにちは、木林暁音です。稻葉さんにBob Jones Universityを紹介していただき、2004年から留学していました。昨年5月に無事卒業することができました。留学生活は大きな恵みと祝福で一杯でした。確かに大変なこともありました。主の憐みのうちに多くのことを学ばせていただくことができました。特に幸いだったことは、必須となっている聖書の授業を通して、信仰におけるしっかりと基盤が与えられたことです。また、主にあって励まし合える多くの友も与えされました。今、留学生活を振り返り、Bob Jones Universityと出会えて本当によかったです。主が稻葉さんを通して私をBob Jones Universityに導いて下さり心から感謝しております。現在は、父の仕事を手伝いながら聖書の絵を描いています。美術教育を専攻しましたので、将来、絵画教室を開いて絵を教えながら聖書のことを伝えていけたらと願っています。また、聖書をテーマとした絵本も作っていきたいです。

今年の8月には札幌で個展を開く予定です。今まで描いた絵をウェブサイトに載せておりますのでよろしければぜひご覧ください。

<http://orangestudio.homeip.net/gallery/album/usrid32220> です。

また、英語も主の御用のために使っていくことができたらと心から願っております。

いかがお過ごですか。ところで、実は今、妻が妊娠中で、来年8月末には出産予定です。それで、ビザの切れる5月末ごろに日本に一時帰国し、11月ぐらいまで日本に滞在しようと思っています。ですので、8月の仙台のサマーキャンプに家族5人で参加できれば、と思うのですが、予約は今からできるでしょうか。詳しい日程や申し込み方法などを教えて下さい。よろしくお願ひします。

海外から Gさん

若干、変更あるかもしれません、日程は、同じ週の木金土の予定です。予約しておきますね。（チア）

第11・12回（2010春・秋）GLEEM 5ヶ月ホームステイ in カナダ<2010春・秋>

第10回プログラムに参加した井上幹也君と三島小巻さんは5ヶ月余りのプログラムを終え、1月7日、元気な姿で日本に帰国しました。今回は、帰国1ヶ月前に三島さんが書いてくれた感想文をご紹介します。

こんにちは三島小巻です。カナダは本格的に冬という感じで、山を見上げれば真っ白、朝起きれば車の窓ガラスが凍り、とても寒いです。

私のホストマザーは一人暮らしの女性で初めはすごくとまどい、あまり話すこともできませんでしたが、ホストマザーがずっと話しかけて下さり、私もめちゃくちゃな文法ではありました。話すことにより、今ではとても良い時間を過ごせていると思います。

さて、何を書こうかなあと思っていたんですけど、隔週の土曜日にあるクラブについて書こうと思います。

クラブは三つあって、スクラップブックを作るか、スポーツをするか、ミュージックをするかでわかれています。私はミュージッククラブで歌っています。活動内容としては、土曜日に練習をして、たまに日曜日になると色々な教会の礼拝でワーシップをさせていただいている。

もちろん賛美をするのは英語の曲なので悪戯苦闘していますが、わからない単語はいちいち調べるので、その分スッとその言葉が入ってきますし、教会で賛美をすると国もちがう、言葉もちがう、だけど神様にある家族ということが感じられます。

この間の日曜日は特別な日で、三個の場所でワーシップをしました。朝はいつものようにある教会の礼拝でワーシップをさせてもらい、お昼にGLEEMのオープンハウスがあり、体育館でワーシップをし、最後にカナダにいる韓国人のための教会がオープンするということで行きました。

とても忙しくはありましたが、その中で力をもらいましたし、毎回毎回駆けつけてくださるGLEEMのスタッフ、ホストファミリー、生徒の姿を見つけると、神様が目に見える形で支えてくださっている事がわかり、すごく嬉しくなりました。初めは、クラブに入る気はなかったんですけど（クラブは自主参加制です）、たくさんのこと経験して入ってよかったです。

他にもたくさんことを学んで、カナダに来れた事をすごく神様に感謝しています。皆様に少しでも、この恵みが分かち合えたらとても幸いです。



1月7日、元気な姿で帰国した井上幹也君（左から3人目）と、三島小巻さん（左端）。久しぶりの家族との再会を喜びました。

2010年の予定

<春のプログラム>

出発：2010年1月22日予定
帰国：2010年6月22日予定

<秋のプログラム>

出発：2010年8月21日予定
帰国：2011年1月23日予定

第1回 チア・にっぽん杯 絵画コンクール

初めての絵画コンクールの開催を決定しました。「読書感想文」では、「読書」や「書く力」を、そして、本企画は、「絵画」の賜物を伸ばす機会の奨励を、との思いからです。作品のテーマは「聖書」です。聖書から、どの場面でもOKですので、絵画に描いてみませんか。表彰・展覧会は、コンベンション会場です。皆様のご応募、心からお待ちしています！

<応募要項>

■テーマ：聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。

■部門：（1）小学生の部 （2）中高生の部 （3）一般の部

■作品規定：サイズ自由（画材は油彩、水彩、クレヨン、ペン画ほか自由です）

【下記の記入項目を作品の裏にご記入いただき、ご応募ください】

氏名(フリガナ)、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由(100字以内自由)

■応募締切：4月末日

■応募先：〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷8-7-13-207 チア・にっぽん事務局「絵画コンクール」係

■表彰式日程・場所：チア・にっぽんコンベンション会期中に開催

◆関西会場：生駒聖書学院 ◆東京会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

(チア・にっぽん カレンダー)

●チアにっぽん関東合同学習会トライアル（予定）

- ・2010年1月25日（月） | 2010年6月28日（月）
- ・2010年3月16日（火） | 2010年9月25日（土）

◆国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木）

●礼拝＆セミナー（長野）

2月7日（日）

礼拝：午前10時半～、セミナー：午後2時～
下諏訪キリスト教会（TEL 0266-27-3862）

●チア・コンベンション

関西：生駒聖書学院（奈良・生駒）

5月21日（金）～22日（土）

東京：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

5月28日（金）～29日（土）

◆主講師 フィル＆スージー・ダウナー夫妻

●チア・サマーキャンプ in 仙台明泉学園

8月12日（木）～14日（土）（予定）

●白馬セミナー ホテル・グリーンプラザ白馬（長野）

11月18日（木）～20日（土）（予定）

<森山満音君（白血病で闘病中）の緊急祈禱課題です>

年末に新型インフルエンザに感染し、肺炎を起こしました。この10日ほど食事を取れず、体力も落ちてきています。時々、叫んだりしていますが、昨日は大分会話をすることができたので、私たちも精神的に少し落ち着いています。まのんは小さいながらも本当に良く頑張っています。どうかお祈りの中で、イエス様に「まのんはイエス様の力によってよく頑張ってますよ」とお話し下さい。もう少しの辛抱だと思います。主にある完全なる勝利を期待しています！（森山 剛・有佳子）

☆広告募集中！☆

チア・ニュースレター／マガジン／HP等

広告を通して、チアの皆さんとの絆を深め、チアのミニストリーを支えませんか？ 詳しくは、チア事務局まで。

しお あじ

「塩味」のきかせたホームページを制作しませんか



個人向けホームページから
ビジネスのためのウェブサイト構築まで

Chinoshio inc 伝えたい想いを大切に制作します

You are the salt of the earth, you are the light of the world.

有限会社 地の塩

<http://www.chinoshio.com/>

TEL : 050-3413-1859

ホームページ新規制作・既存のサイトのリニューアル